

<p>(3) 学校評価アンケート結果について</p>	<p>校長</p>	<p>児童・保護者・教職員のアンケート結果の説明表の数字を見ながら、令和6年度との比較をもとに考察したことを説明。</p> <p><児童アンケート></p> <p>○No3：明るく元気に過ごしている児童が増えた。</p> <p>No7：先生から褒めてもらっていると実感している児童が増えた。</p> <p>No8：困ったときに大人に相談できる児童が増えた。</p> <p>▲No1：自分でよく考えながら勉強しているかの項目が低かった。実態はよく考えており、実態と心情にズレがあるように感じている。</p> <p>No4：授業の内容はわかるかの項目が低かった。この項目も、実態と心情にズレがあるように感じている。</p> <p>No12：進んであいさつをできているかの項目が低かった。地域の方からはあいさつができていると言われている現状でもある。</p> <p><保護者アンケート></p> <p>○No5：教職員は子どものよさを見付け伸ばそうとしているかの項目で肯定的な回答が向上するとともに、D評価が0%だった。</p> <p>No9：児童が進んであいさつをしているかの項目で肯定的評価が増えた。</p> <p>No10：ホームページ等を通して学校での活動について家庭に伝わっているかの回答が増えた。ブログの更新回数を増やした成果が表れている。</p> <p>No15：教職員はICTを活用した授業を行っているとの肯定的回答が増えた。学校公開を通していただいた結果と考えている。</p> <p>▲No2：児童は思いやりのある子に育っているかについては、評価が下がった。</p> <p>No6：教職員が保護者からの相談に誠実に対応しているかの項目は上がったが、教職員が子どもの相談に対応しているかの項目が下がった。</p> <p>No14：保護者は学校の教育活動に協力しているかの項目が下がり、保護者の方々の日々の忙しさが数字に表れていると考える。</p> <p>児童も保護者もあいさつについての項目が低かったことが、共通点だった。</p> <p><教職員アンケート></p> <p>○No7：防災・防犯についての指導が適切に行われているかの項目が向上した。</p> <p>No13：人権意識の育成が図られているかの項目が上がった。6年でLGBTQについての授業を行ったことも関係している。</p> <p>No14：いじめの未然防止が強く推進されているかの項目が上がった。小さなことでも見逃さず対</p>	<p>10:48</p>
----------------------------	-----------	--	--------------

<p>(4) 「令和7年度学校自己評価システムシート」について</p>	<p>校長</p>	<p>応してきたことが成果として表れている。</p> <p>▲No2：計画に基づいた教育活動ができているかの項目が低かった。</p> <p>No5：教室や廊下等の環境は整っているか問う項目が低かった。老朽化や空き教室がなにより、物を保管する場所がないことが原因と考える。</p> <p>No21：ICTを活用した授業についてはまだ足りないと感じている教員が多い。</p> <p>児童・保護者・教職員3者が共通してよい結果だった項目として、教職員は児童のよさを認めている、教職員は相談に適切に対応している、の2つが挙げられる。</p> <p>逆に、認識が異なった項目としては、ICTの活用で保護者は肯定的な回答が多かったが、児童と教職員はもっと活用したい、もっと活用させたい、という結果だった。</p> <p>学校評価の結果を次年度の学校経営に生かしていきたい。</p> <p>「令和7年度学校自己評価システムシート」から</p> <p>1：学びの質の向上に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学校評価アンケートの結果における肯定的回答が低く、実態と合っていない印象である。 ・アート体験や車いすバスケットボール選手との交流、スーパーアリーナ見学など新たな活動を実施した。 ・生活と結び付ける「新しい家庭学習」に取り組むことができた。 ・次年度以降も、学びの調整力を高め、自分で学ぶ力を高めるために家庭学習を推進していく。 <p>2：子どもの発達や心のサポートに関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の発案による活動が充実し、下小フェスティバルも実施できた。 ・学校公開で道徳の授業を公開したり、いじめ防止プログラムを実施したりした。 ・次年度は、思いやりの心を育むプログラムを拡充していきたい。 <p>3：地域とともにある学校づくりに関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が地域の一員として活躍することを目指す方向性が明確となった。 ・年賀状などで地域の方へ感謝の意を示す取組ができた。 ・インターネットを通じた情報発信を充実することができた。 ・次年度以降も、児童主体での取組を充実させ、地域との交流も発展させていく。 	<p>11:13</p>
-------------------------------------	-----------	--	--------------

<ul style="list-style-type: none"> ・各委員に意見と評価をシートに記入時間 ・各委員より発表 	<p>小山</p> <p>小山</p> <p>増渕</p> <p>池田</p> <p>奥田</p>	<p>4：教育環境の整備に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ置き場を設置したり、職員作業で廃棄物の処理をしたりして環境を整えた。 ・職員室前に掲示板を設置し、掲示教育の充実を図ることができた。 ・次年度以降も、計画的な廃棄物の処理や、掲示物の充実を図っていく。 <p>5：教職員のキャリア形成に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校DX推進委員会」の機能を果たすことができた。 ・職員室の座席配置を変え、副担任が学年に関われるようにしたことで、チーム力が高まった。 ・次年度も、グループ研修を取り入れるなど、教員も主体的・協働的に研修を進めていく。 <p>学校自己評価システムシートの説明を踏まえ、意見や感想をシートに記入する説明をした。</p> <p>各委員からご意見やご要望等をお一人ずつ発表する時間を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の自己評価が低いので、できたことの記録を付けると成果が実感できる。完璧主義を捨てる必要があると感じる。 ・下小フェスティバルは、多方面の協力で充実した内容で実施できた。 ・リフレッシュ工事を早めるように働きかけてほしい。 ・働き方改革での影響を、人員増で補ってほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体になり考え実現することで、自信につながったのだと感じる。 ・副担任制の活用で一体感が生まれたのはよいこと。チームワークの良さを感じた。 ・地域との連携を考えてくれ、我々も嬉しい。 ・老朽化の中、よく頑張っていると思うので、協力できることはしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・色々な活動を体験するのは、大きくなった時の糧となると思う。 ・縦割り活動を通して、相手へのいたわりや思いやりを学んでほしい。 ・児童との交流が増え、児童の心がけなど、逞しさを感じた。 ・校内に掲示されている作品の展示で、個性的な絵や立派な字などがあり、先生方の指導が素晴らしい。 ・副担任制は、多くの目で児童を見ることができるので、良いことだ。 	<p>11:32</p> <p>11:50</p>
---	---	--	---------------------------

(5) 令和8年度学校運営について	渡邊	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動は、高学年のアイデアを低学年が真似をでき、多くのことを身に付けることができる。 ・地域に年賀状をくださり、ありがとうキャンペーンにも参加でき、嬉しかった。 ・老朽化が進む中、掲示物で学校を綺麗にしようとしていることは素晴らしい。 ・副担任の配置によって、チームワークができていて良かったと思う。 	12:15
	川上	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも褒めてもらえることが多くなり、自信や喜びにつながった。家庭学習の課題は、生活と結び付いて分かりやすく好評である。 ・クラスを超えてのサポートやアドバイスをいただくことがあり、学校全体で子どもの成長を見守っていると感じた。 ・下小万博では、社協の協力もあり、車椅子体験を実施することができた。地域の方がイベントに参加してくださり、子どもも楽しめていた。 ・PTAとして、下小リサイクルの回収率を上げていきたい。 ・教科担任制で、他の先生と接する機会が多くなり、子どもがより親しみを感じている。 	
	高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のレベルが高いので、チャートを設置して基準を設けることで、もう少し自己評価が上がると思う。 ・縦割り活動の「下小フェスティバル」は、多学年との関わりで成長が見られると思うので、今後も実施してほしい。 ・児童の対応を学校全体で取り組んでいることは、対応の一本化につながり、不安が無くなると思う。 ・学校運営協議会の写真を掲示してもらったことで、児童に「見たよ」と声をかけてもらった。掲示の効果を実感した。 	
	小山	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の数字に惑わされずに頑張ってもらいたい。 ・縦割り活動を多くして学習に取り組んでほしい。 ・学校ブログも続けてほしい。 ・掲示は充実していて素晴らしい。 ・ライフワークバランスを考えて仕事に取り組んでほしい。 	
	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に改訂した「総合的な学習の時間」について、ブラッシュアップする。 ・「しんとんとん」へ下落合小魂を吹き込む活動をとおして、児童の自治意識を高める。 ・令和7年度より設定した、ロング昼休みの意義を再確認し、児童同士、児童と教職員の温かな関わりを醸成する。 	

		・学校運営協議会への児童の参加を継続し、学校運営を強化する。	
--	--	--------------------------------	--

12:25～5. 諸連絡

- (1)「令和7年度学校運営協議会委員アンケート調査」御協力をお願い
教頭よりアンケート調査を依頼した。
- (2)令和7年度チャレンジスクールの活動報告
別紙参照の上、奥田委員から報告した。

12:35～6. 閉会

12:40～ 代表委員児童 参加

- ・第2回学校運営協議会にて、委員の皆様からいただいた意見をもとに、児童会で話し合い、その話し合った内容を発表した。
- ・2つのグループに分かれて、委員の皆さんと給食を食べながら、委員の方の話を聞いたり、児童の小学校の思い出や中学生活・将来の夢などを話し合ったり、会食の時間を設けた。